

1 被保険者及び医療費の動向

1 被保険者等の状況

- 被保険者数は減少する一方で、一人当たり医療費が高い前期高齢者の割合が増加

【被保険者数】

本県⑳ 1,448千人→㉑ 1,238千人 (▲14.5%)
 全国㉒35,115千人→㉑29,453千人 (▲16.1%)

【前期高齢者の割合】

本県㉓35.3%→㉑44.4%、全国㉒32.9%→㉑42.2%

2 医療費の動向

- 高齢化等に伴い、一人当たり医療費は、毎年2～3%程度増加
 (㉓本県 372,602円、全国 352,839円、全国 21位)
- 県内における平成28年度の医療費水準(年齢調整後)の格差は1.23倍
 (㉓最高：佐用町 399,133円、最低：豊岡市 325,154円)

2 平成30年度の保険料決定状況

1 増減の状況(対29年度)

公費拡充(毎年3,400億円)や激変緩和措置により、制度改正による急激な保険料の上昇は概ね抑えられ、円滑に施行

- 増加：19市町、減少：22市町

	市町名	一人当たり保険料額(円)		増減率(%)	
		29年度	30年度		
県平均	—	92,802	90,453	▲2.5	
最大	増加	福崎町※	79,922	88,543	10.8
	減少	尼崎市※	101,646	86,300	▲15.1

※ 福崎町：前期高齢者交付金の県単位化による影響減

※ 尼崎市： 〃 影響増

2 法定外一般会計繰入の状況(㉑→㉒：約10億円減少)

	繰入実施市町	繰入額
29年度	8市町：神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、赤穂市、宝塚市、三木市	1,903百万円
30年度	4市町：西宮市、芦屋市、三木市、佐用町	900百万円

3 平成30年度の国保特別会計の運営状況

1 決算見込み

- 収支見込み：69億32百万円の黒字(剰余金) ※歳出(歳入)総額の1.4%
 ⇒ 平成30年度決算認定(平成31年9月県議会)後、平成32年度の納付金総額の抑制や国交付金精算時の財源として活用

(単位：百万円)

区 分	当初予算額 ①	決算見込額 ②	差引増減額 ②-①
歳入総額 A	508,583	505,390	▲3,193
歳出総額 B	508,583	498,458	▲10,125
収 支 A-B	0	6,932	6,932

2 歳入及び歳出

(1) 歳入

- 31億93百万円の減少(見込み)

【主な要因】

- 保険給付費の実績見込額の減少に伴う国庫支出金及び一般会計繰入金(県繰入金)の減少
- 前期高齢者交付金等の交付額(実績)が当初予算時に国から提示された交付見込額から増加

(単位：百万円)

科 目	当初予算額 ①	決算見込額 ②	差引増減額 ②-①
納付金	158,164	158,164	0
国庫支出金	139,562	136,167	▲3,395
前期高齢者交付金等	178,299	179,077	778
一般会計繰入金・基金繰入金	32,558	31,982	▲576
合 計	508,583	505,390	▲3,193

(2) 歳出

- 101億25百万円の減少(見込み)

【主な要因】

- 保険給付費の実績見込額の減少
- 後期高齢者支援金及び介護納付金の納付額(実績)が当初予算時に国から提示された納付見込額から減少

(単位：百万円)

科 目	当初予算額 ①	決算見込額 ②	差引増減額 ②-①
保険給付費等	414,781	404,758	▲10,023
後期高齢者支援金	67,704	67,591	▲113
介護納付金	24,040	24,017	▲23
前期高齢者納付金・基金積立金等	2,058	2,092	34
合 計	508,583	498,458	▲10,125

4 国保運営方針に係る主な取組の進捗状況

1 保険料の算定方法

① 算定方式(市町数)

- 平成30年度は、12市町が3方式に移行
- 現在、4方式の7市町(たつの市、佐用町、宍粟市、養父市、朝来市、南あわじ市、豊岡市)についても、計画的・段階的に3方式へ移行

	29年度	30年度
3方式	22	34
4方式	19	7

② 賦課限度額(市町数)

- 現在、政令基準となっていない2市(明石市、赤穂市)についても、順次政令基準へ移行

	29年度	30年度
政令基準	40	39
政令基準以外	1	2

2 目標収納率の達成状況

- 収納率は、年々増加(本県㉑91.05%→㉒93.44%、全国19位)しており、全国平均(㉓91.92%)以上
- 平成29年度の規模別収納率では、約4割の市町が目標を達成

規模別	29年度	
	目 標 値	達成状況※
10万人以上	93.9%(㉑全国上位10%の水準)	33.3%(1/3)
5万～10万人	93.5%(〃 10%の水準)	100.0%(3/3)
1万～5万人	94.1%(〃 30%の水準)	50.0%(8/16)
1万人未満	95.4%(〃 50%の水準)	26.3%(5/19)
合 計	—	41.5%(17/41)

※達成状況は、達成市町数を規模別市町数で除して算出

3 医療費の適正化に係る取組状況(市町数)

- 県2号繰入金及び保険者努力支援制度等による支援により、市町の医療費適正化に係る取組は進展
- 特に、重症化予防の取組は、昨年10月の県版プログラムの策定や県医師会・県糖尿病対策推進会議・県の連携協定を契機として大幅に増加

取 組 内 容	29年度	30年度
糖尿病等の重症化予防の取組状況	25	39
個人インセンティブ制度の導入状況(ヘルスケアポイント等)	22	31
重複服薬者に対する取組状況	21	28
後発医薬品の使用促進の取組状況(目標の立案及び差額通知の送付)	14	37
データヘルス計画の策定状況	39	40